



## は なに 歯は何からできているの

### 二つの部分からできている

歯は、口を開けると見える、歯ぐきから出ている白い部分の「**歯かん**」と、あごの骨の中にうまっている、うす黄色の「**歯根**」の、二つの部分からできています。

歯かんの白い部分は、エナメル質というもので表面をおおわれています。エナメル質は、人間の体の中でいちばんかたく、骨よりもかたいのです。

エナメル質の内側は、ぞうげ質とよばれるうす黄色のものでできています。ぞうげ質のかたさは骨と同じくらいで、歯かんから歯根まで続いています。

歯根の中心のところは「**歯ずい**」とよばれる部分で、穴のようになっており、ここには、血管や神経がきています。

### むしば いた 虫歯になると痛いのは

虫歯になって、歯のエナメル質に穴があくと、歯ずいにある神経がしげきされます。

歯ずいにある神経は脳につながっているため、神経がしげきされると、そのしげきが脳に伝わり、虫歯が痛いと感じるのです。そのため、虫歯がひどくなると、お医者さんは、この神経を、とってしまうことがあるのです。（監修・保志 宏）

